

令和6年度 自己点検・評価報告書

小出美容専門学校

I. 建学の精神・教育理念

建学の精神・教育理念としては素直で思いやりのある心を育みながらスタイリストとしての技術や完成を学習するための独自の教育システムの構築に努め、誰からも愛される美容師を育成する事を第一義の目的とした。

学生に対しては資料請求時のパンフレット等で周知し、入学後のオリエンテーション、朝礼において理解を深める学習をした。

教職員に対しては校長訓示、職員会議により周知徹底した。

1957年の創立以来、素直で思いやりのある心を育みながら美容師としての技術や感性を身に着ける独自の教育システムの構築に努め、いつも笑顔「A-smile」の基本理念で誰からも愛される美容師を育成することを第一目標とした。

建学の精神や教育理念は学校案内や式典での講話を通して周知し、また、学生、教職員に対して、ロゴマークの使用、朝礼、ホームルームにより周知徹底した。

II. 教育の内容

コロナ禍のため休校等があったが、夏期休暇、冬期休暇の短縮、又インターネットを活用しての実技及び学科を自宅で学習し、カリキュラムを消化することができた。

1年次は基礎技術・知識の徹底修得を目的とした「ベーシックビューティアー」、国家資格取得のための的確な「国家試験対策プログラム」を中心に、2年生が主体で行う「サロンレッスン」、校内コンクールに参加して実戦経験を積みつつも覚える楽しさを体感できるようにカリキュラムを進めた。

2年次はサロンワークで技術と接客を徹底的にマスターすると共にインターンシップ制度を積極的に取り入れプロフェッショナル講師を招き現場で必要な専門性を磨く事を主眼に置き校内コンクールの実施。

上記に加え、笑顔・挨拶・掃除の基本の徹底を正課中・放課後を問わず指導した。

教育内容については、学生の満足度に直結する事項であるため、最重要課題として受け止め、様々な見直しの努力をした。さらなる発展向上を目指す。

1年次は「ベーシックレッスン」と「国家試験課題レッスン」をメインカリキュラムとして実施し、美容師としての基礎技術と知識を修得させた。また、「接客マナー」と笑顔の大切さを学ぶため、2年生が主体となる「サロンワーク」に参加して実践経験を積み、覚える楽しさを体験できるようにカリキュラムを進めた。

2年次は実践的な「サロンワーク」で技術と接客を徹底的にマスターさせるとともに、インターンシップ制度を活用し現場で必要とされる専門性の高い技術の修得に主眼を置いた。

また、美容師としての基本である「笑顔・挨拶・掃除」を2年間通して指導した。

上記の目標の達成の一環として SOWAKA を提唱して毎日徹底指導により各学年の学生の資質の向上を図り、目標とした。

教育内容については、学生の満足度に直結する事項であるため、最重要課題として受け止め、様々な見直しの努力をした。がさらなる発展向上を目指す。

Ⅲ. 教育の実施体制

シャンプー・スタイリングの実習室、プロ仕様のスタジオ、多目的スペースのアトリウムを備えたユニークな外観の本館・プロが使用している機器を導入したサロンスペースを備えた最新設備の新館と教育環境は整っていると自負しているが、更なる備品の充実・環境の維持美化を続けている。

カメラ、モニターを駆使してより分かりやすい技術指導又カリキュラムの円滑な実施は無論の事、生徒を主体とした各種イベントの準備・開催に教職員が協力・指導をし、生徒の自主性の確立・達成感の獲得に寄与した。

個性的でアート感覚の溢れる本館はシャンプー、スタイリング実習で使用するトレーニングルームやメイク、ネイル、エステ、まつ毛エクステをはじめ本格的な美容実習を行うビューティールーム、撮影機材が揃った多目的スペースのアトリウムを備えた空間であり、新館は実際にプロが使用している設備を導入したサロンスペースなど有し教育環境は整えている。また、学生、教職員とも備品の整理整頓や施設の美化に日々努めている。

学生を主体とした各種の学校行事に教職員が協力、指導したことにより、学生の自主性を確立させ、目的に対しての達成感を体得することに寄与した。

Ⅳ. 教育目標の達成度と教育の効果

単位認定は美容師法の法定課目については全出席であり、かつ試験に合格した者に対して行った。単位取得状況は、全体的に良好である。

習熟度をはかる試験・補講の実施により理解度を深め技術修得度・学生の満足度の上昇を促すとともに、学生生活不適應による退学者を減少できた。

休退学者の現状を見ると経済的な問題や進路変更に加えて、近年精神的な問題等で休退学を余儀なくされるケースが多く見受けられる。教員の個別指導や本学提携の医療機関と連携した速やかな対応・職員間の情報の共有や対応の徹底を更に進め、学生が満足できる充実した授業・学生生活を提供する。

コンクール・学生技術大会にも出場することにより、明確な技術目標、時間の意識付けをすることにより授業、レッスンにおいて真剣に取り組むようになった。

Ⅴ. 学生支援

AO 入試入学予定者には入学前カリキュラムを実施し、入学前教育の一層の充実を図ることができた。また、2年生を交えた入学後のオリエンテーションの実施により、学校生活に対する不安などを軽減することができた。また AO・指定校推薦・社会人入試者に対し2年間の学費負担低減を行うことにより、経済的理由による退学者が減少した。

従来の女子寮に加え、学校提携マンションの紹介により遠方から入学する男子学生の保

護者の負担軽減も実現できた。

ふるさとキャンペーンを継続、家賃補助を行うことにより他府県生徒・保護者の費用を軽減することができた。

入試、学生支援室を創設、人員を配置することにより学生への支援を強化した。

VI. 研究

専任教員を提携サロンへ派遣した。外部講師を招き校内研修を行った、教員の技術力・指導力が向上した。

VII. 社会的活動

例年通り、来校しての授業は少なく各中学校において行った年間を通じ大阪府内の各中学校の要請を受け職場体験授業を8校の中学2年生に対し本校学生が技術指導を通し教える事の難しさ、美容師の良さを伝え職業選択の一環授業として美容師の仕事全般についても説明を行った。

中学生・高校生に対する職業体験の派遣・高校の進学ガイダンスの出席、職業意識醸成に寄与できた。

VIII. 管理運営

毎朝夕の教職員朝終礼を行う事により、意思統一・伝達体制の確立を図る事ができた。教職員の定期健康診断を実施し、健康管理の徹底を行う事ができた。

IX. 財務

経費削減の推進を目指し、電力消費の削減のためにオンデマンドE Sシステムの導入・ペーパーレス化を進め、経費を抑えた。照明器具のLDE交換を進め電気代のランニングコスト削減を実施

堺市北消防署の指導のもと、防犯・防火体制の維持向上・避難訓練等を実施した。

施設設備管理を徹底し、軽微な修理、ワックス、塗装等を教職員で行い、施設設備費を削減した。

学生募集に関しても募集媒体を取捨選択し広報費用を抑えた。パンフレットも自校で企画作成・印刷のみオンデマンドを活用することにより費用を大幅に削減することができた。

外部講師の協力を得て、人件費を削減することができた。

X. 改革・改善

自己点検・評価の強化を行い、評価・伝達・会議等の開催を増加させ教職員の意識改革・コミュニケーションを深め相互信頼の確立を図った。